



不忘山

平成28年9月15日

第13号
(文責：教頭)

「はやね はやおき あさごはん」、交通ルールを守りましょう！

(学校のホームページ → www.fukuoka-e.shiroishi-c.ed.jp/)



市小体に向けての壮行会

開催が心配された白石市小学校体育祭ですが、予定どおり、昨日、緑地公園陸上競技場で開催されました。6年生各自、それぞれの出場した種目において精一杯の力を出し切って記録を残したことでしょう。入賞などの記録については、次号で紹介する予定です。

それに先立ち、5日(月)の朝会の後半で、壮行会が行われました。



ステージ前に6年生全員が整列し、代表して昆野リラさんが、市小体に向けて練習してきたことや出場することについて、話をしました。

その後、出場する種目ごとに6年生が立ち上がり、市小体参加に向けての決意を、代表者が発表しました。右の画像は、男子100mに参加するメンバーです。大浦緋彩君が発表しました。

その後、5年生5名から応援のメッセージが述べられ、最後に全校生で「がんばってください」と応援しました。



楽しく、美味しく、親子活動実施

夏休み前には1年生と3年生が、夏休み後には4年生と5年生が親子活動を行いました。

8月31日(水)には4年生の親子活動がありました。白石市の栄養教諭の先生2名をお招きして、「親子冷たいデザート作り」と「おやつを取り方」をしました。事前に役員さんが簡単に作ることができるフローズンデザートを準備し、試食などもしました。当日は、パフェ的なデザートを作り、試食後は、集会室に移動して、おやつを取り方について学びました。



9月13日(火)には5年生の親子活動がありました。はらから福祉会の「はたまき・手づくりの里」から3名をお招きして「親子陶芸教室」を行い、「お家で使おう！」のテーマのもと、親子で花瓶やカップやお皿などを作りました。焼き上がるまで時間がかかりますが、出来上がりが楽しみです。

図書ボランティアさん

夏休みが終わり、図書室関係のお手伝いをお二人の方にお世話になっております。向かって左側の方が武田悦子さん、右側の方が櫻田和子さんです。学校にお出でいただくのは不定期ですが、お出でいただいたときには、本の整理や管理、入れ替えなどしていただいています。使いやすい図書館になりつつあります。

保護者の皆様もよろしければお手伝い願います。(窓口：教頭)



いじめは撲滅します

毎年のようにいじめによる自殺のニュースが流れます。先日も、青森県の中学生在がいじめを苦にして自ら死を選んでしまいました。とても残念なことであり、悲しいことです。

宮城県教育委員会の報告によれば、平成24年度に緊急調査を行ったところ、小学校でいじめと認知された件数は7802件でした。その内容は「冷やかしゃからかい等」がほとんどで、「仲間はずれや集団による無視」「軽くぶつかる、たたかれる」「嫌なことや恥ずかしいこと等」「ひどくぶたれたり、叩かれたり、蹴られたりする」が続いていました。

残念な報告であり、真摯に受け止めなければならないことと思います。

これまで、本校では「学校生活アンケート」毎月実施したり、地域の方々と話し合いを持ったり、日常の観察をこまめにしたりしながら、いじめを未然に防ぐようにし、いじめにつながる恐れのある行為についてはその都度、指導してきました。また、親御さんから連絡帳などで心配な事案が連絡されたときなどは、速やかに対応し深刻化しないようにしてまいりました。

しかしながら、いじめはいつでも、どこでも起こり得るものと認識しています。この認識のもと、今後も、いじめを未然に防ぐように取り組んでまいります。また、いじめが発生したときには、速やかに対応し、早い段階で解決できるよう、全職員で対応してまいります。

ご家庭におかれましても、お子様のことで気になることや心配なことなどがありましたなら、各担任まですぐにご連絡願います。

いじめに対して今後も学校では指導を続けていきますが、ご家庭でも、いじめは人としてしてはならないこと、卑劣な行為であることなどについて話題にしていただければと思います。



5日(月)の朝会の前半、教頭からの話の中では、ある小学校の5年生の作文を紹介しました。少し長くなりますが、全文を以下に紹介いたします。ご家庭でも、作文をもとにしながら、いじめに関わる話などしていただければ幸いです。

ぼくを助けてくれた友達

ぼくは、4年生のときいじめられていました。教室に入ると、理由もなく押されたり、けられたり…。もう我慢できなくなって、しばらく学校を休みました。

やっと、学校へは行けるようにはなりました。でも、教室には、怖くて入れませんでした。またいじめられるかもしれないからです。

ぼくは、毎日保健室で過ごしました。保健室なら、いじめられる心配がないからです。給食も保健室で食べました。友達と話さないで食べる給食は、さみしかったです。

ある日、同じクラスのAくんが、給食をもって、保健室に食べに来てくれました。ぼくは、何カ月ぶりに友達と話をしました。いろいろとAくんと話をしました。次の日は、Sくんが来てくれました。うれしくてたまりませんでした。次の日は、Yくん、次の日は、Mさん、次の日はKくん、Fくん…。

でも、教室には行けませんでした。またいじめられるかもしれないからです。またけられるかもしれないからです。まだ恐かったです。でも、給食を食べに来てくれた友達が、いじめた子に強く話してくれたそうです。

「もう、あいつをいじめるな。」

「いじめるんなら、俺たちみんなが、力を合わせてゆるさんぞ」

と。そして、ぼくを保健室まで迎えに来てくれました。

ぼくは、おそろおそろ教室に行きました。いじめた子が、こっちを見ていました。こわかったです。でも、みんなが守ってくれていたの、何もされませんでした。

ぼくは、みんなのおかげで、やっと教室に行けるようになりました。やっぱり、教室は楽しいです。みんなと食べる給食は、おいしいです。

もしもいじめられている子がいたら、ぼくは、ぜったい助けてあげます。ぼくも助けてもらったんだから……。